

令和 6 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人檜葉町社会福祉協議会

令和6年度 事業報告書

1. 事務局

(1) 法人運営

理事会・評議員会等を下記のとおり開催し、適切な法人運営に努めました。

会議名	開催日	主な議題
理事会	令和6年 5月14日	職務執行状況報告、令和5年度事業報告、決算
	令和6年12月 9日	職務執行状況報告、評議員選任・解任委員の選任、経理規程改正、補正予算
	令和7年 3月 4日	補正予算、令和7年度事業計画、予算他
評議員会	令和6年 5月28日	令和5年度事業報告、決算、役員の選任
	令和6年12月19日	補正予算
	令和7年 3月24日	補正予算、令和7年度事業計画、予算
監事会	令和6年 5月10日	令和5年度事業・会計監査

(2) 自主財源の確保・寄附金の受領

今年度も行政区長会に参加し、各行政区の区長に社協会費や日本赤十字社の社費、共同募金の戸別徴収をお願いしました。上井出、北田、大谷、下繁岡、上小槁、下小槁、山田岡、山田浜、大坂の各行政区で戸別徴収を行っていただき、松館、上繁岡、波倉、営団行政区では賛助会費として納入していただきました。また、企業・団体等にも協力を呼びかけ、35の企業・団体等からのご協力が得られ、その他の個人分と合わせて、約140万円に会費が納入されました。令和7年度以降も同様に継続していきます。

寄附金の受領については、一般寄附金が23件で363,146円、ご遺志金が66件で1,430,000円、合計で1,793,146円を受領しました。ご遺志金については告別式に参列して感謝状の贈呈を行い、一般寄附金については感謝状贈呈式を開催する予定となっています。また、令和4、5年度に例年以上にいただいた寄附金につきましては、今年度内に運用財産基金として積み立てを行いました。

(3) 職員研修の実施

今年度も、毎月1回の職員研修を実施しました。また、外部研修については、オンライン形式の研修を中心に受講し、職員の資質向上に努めました。

(4) 人事・労務・会計管理

今年度の人事管理については、嘱託職員3名、非常勤職員2名を採用し、不足している事業所への配置を行いました。来年度以降も継続して採用活動を行い、人員不足の解消を目指します。

労務管理については、働き方改革関連法等の趣旨に従い、有給休暇の取得の奨励を行い、就業環境の適正化に努めました。

会計管理については、入出金と預金残高の管理、毎月実施する月次処理等を適正に行い、法人の経営状況の改善に努めました。

(5) 福祉関係団体の運営支援

① 檜葉町民生児童委員協議会

檜葉町民生児童委員協議会の事務局として、会計管理や事業報告の作成、毎月1回開催される定例会の資料作成及び講師の派遣調整、福島県民生児童委員協議会等の関係機関との連絡調整、各委員への通知や資料等の発送等を行いました。

②檜葉町老人クラブ連合会

檜葉町老人クラブ連合会の事務局として、会計管理や事業計画・報告等の作成、総会や各種会議の開催、勉強会や研修会の企画、開催等を行い、活動している単位クラブの支援を行いました。

③檜葉町遺族会

檜葉町遺族会の事務局として、会費の徴収や役員会・総会の開催準備及び資料作成、戦没者慰霊祭の開催準備、竜田神社・木戸八幡神社で行われる招魂祭の開催準備、参拝研修、遺族会だよりの発行、福島県遺族会等の関係機関との連絡調整等を行いました。

(6) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営については、通常通りのボランティアの募集・広報周知活動、活動に関するコーディネート、ボランティア保険への加入手続き等を行いました。また、「サマーショートボランティアスクール」、「ボランティア講座」を開催し、町民のボランティア意識の醸成に努めました。令和7年度以降も継続して開催し、地域共生社会の実現を目指します。

【令和6年度実績】 ボランティア登録者数 40名 活動者数 延 162名
サマーショートボランティアスクール参加者 1名
ボランティア講座参加者 延 70名（社協職員含む）

(7) 在宅福祉サービス事業の実施

在宅福祉サービスについては、ボランティアの方々の協力を得ながら例年通り実施しました。また、行政とサービス内容の拡充等に関する検討会を行い、利用対象者の範囲や自己負担、新たなサービスの導入等を始めました。

【令和6年度実績】 登録者数 55名
配食サービス 延 1,434食 車椅子同乗軽自動車貸出サービス 延 23件
家族介護用品サービス 10名 外出支援サービス 延13件 理美容サービス 1名

(8) 低所得者等への支援

①生活援助資金貸付事業

町内に居住する低所得世帯に対して生活費の貸付を行う事業で、相談対応や滞納者への督促状の発送等を行いました。

【令和6年度実績】 返済 2件 40,000円 相談対応件数 12件

②生活福祉資金貸付事業（福島県社会福祉協議会からの委託事業）

檜葉町に住民票を有する低所得者に対して生活費や就学資金等を貸付する事業で、今年度の通常貸付はありませんでしたが、新型コロナウイルスによる収入減少に係る特例貸付について、償還に関する相談対応等を行いました。

【令和6年度実績】 相談対応件数 延2件

新型コロナに係る特例貸付の償還に関する相談件数 延 44件
避難指示解除以降、町内に居住する困窮世帯は増加傾向にあり、来年度以降もさらに

増加することが予想されるため、上記貸付事業の相談に加え、生活困窮者自立支援機関等との連絡調整に努め、住宅確保給付金や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の相談等にも応じ、生活困窮者の自立支援に努めていきます。

生活困窮 相談対応件数 51件 フードバンクによる食糧支援 16件
支援調整会議（県社協主催） 延 7回

（９）権利擁護事業の充実・強化

①日常生活自立支援事業

判断能力が低下している高齢者や障がい者等の日常的な金銭管理、福祉サービス等の利用援助、通帳等の預かりを行い、権利侵害の防止に努めました。

【令和６年度実績】

ア．認知症高齢者等	利用者	4名	援助回数	延	123回
イ．知的障がい者等	利用者	3名	援助回数	延	48回
ウ．精神障がい者等	利用者	2名	援助回数	延	56回
エ．制度外利用	利用者	1名	援助回数	延	16回

②法人後見事業

令和４年度から事業を開始しましたが、今年度も利用者はいませんでした。令和７年度以降も関係機関で開催される研修会等に参加して制度の習熟に努め、成年後見人等のなり手がいない方々の支援を行っていきます。

（１０）広報・情報提供体制の充実・強化

今年度の広報活動については、広報誌の発行は例年通り行い、紙面の充実にも努めました。また、ホームページの掲載内容の充実も図れました。来年度以降も、ホームページによる情報発信の強化に努めてまいります。

（１１）指定管理業務

今年度も、檜葉町保健福祉会館の指定管理業務を受託し、施設の適切な保守管理、運営に努めました。

【令和６年度実績】

		延利用回数	延利用者数
1階	大会議室	208回	3,700名
2階	大集会室	78回	965名
	遊戯室	198回	1,045名
3階	機能回復訓練室	238回	3,998名
	老人室	147回	1,634名
	合 計	869回	11,342名

※２階小集会室は、令和３年６月から一般社団法人８色が賃借。

（１２）日本赤十字社事業の推進

日本赤十字社事業については、９つの行政区で社協会費と同じように社費の戸別徴収を実施していただき、前年度以上の社費徴収ができました。また、お寄せいただいたご遺志金については、告別式への参列時に感謝状の贈呈を行い、災害発生時には、義援金等の募集も行いました。

【令和6年度実績】	社費	609件	562,000円
	ご遺志金等	58件	1,234,000円
	義援金	4災害	1,380,131円

(13) 共同募金会事業の推進

共同募金事業については、9つの行政区で社協会費と同じように募金の戸別徴収を実施していただき、職域募金や町内各所に募金箱を設置しての募金活動を行いました。

【令和6年度実績】	赤い羽根共同募金	465,396円
	歳末たすけあい募金	285,500円

(14) 福祉車両・福祉用具貸出事業の実施

福祉車両・福祉用具貸出事業については、福祉施設に入所中の方の通院や自宅から施設への入所、急性期のレンタル物品が届くまでのつなぎ等として利用され、介護者の負担軽減等に役立っていることから、今後も定期的なメンテナンスを行った上で対応していきます。

【令和6年度実績】	福祉車両貸出	7回	福祉用具貸出	18回
-----------	--------	----	--------	-----

(15) 生活支援体制整備事業の実施

生活支援体制整備事業については、就労的活動支援コーディネーターを配置し、若年層の不就労者支援として訪問相談活動を行い、農業事業所での個別作業体験や他施設利用者の施設外就労支援及び福祉農園での農業体験の実施等を行いました。

【令和6年度実績】	農福連携による支援活動	延 39回
	福祉農園による参加支援	7回

2. 地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの構築・深化に向けて相談援助活動等を行い、地域共生社会の実現に向けた活動を行いました。

【令和6年度実績】

(1) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

介護予防プランの作成及び評価	延 1,300件
----------------	----------

(2) 総合相談支援業務

相談件数	延 2,621件	相談延人数	2,209名
------	----------	-------	--------

(3) 権利擁護業務

成年後見制度等の相談対応	延 54件	高齢者等の虐待への対応	延 2件
--------------	-------	-------------	------

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント

①町の課題解決に向けたワーキンググループの開催

「生活困窮者の支援体制について」	2回
------------------	----

「福祉的課題を抱える移住者支援について」	3回
----------------------	----

②学習会等の開催	延 2回
----------	------

③介護支援専門員等の後方支援	延 91件
----------------	-------

(5) 認知症総合支援事業

①認知症初期集中支援チーム活動	2回
-----------------	----

- ②認知症サポーター養成講座の開催 3回
- ③認知症カフェの開催 1回
- (6) 地域包括ケアシステム深化推進業務
 - 地域共生ケア会議の開催 44回
 - 地域包括ケアシステム構築推進シンポジウムの共催 1回
 - サマーショートボランティアスクールへの協力 1回
 - 情報紙の発行による広報活動 12回
- (7) 生活支援体制整備事業の実施
 - 地域ミニデイへの参加 157回
 - 地域ミニデイ情報交換会 1回

3. 居宅介護支援事業所

今年度も、要介護状態となっても住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう、本人や家族の意向に寄り添いながら、適切なケアプラン作成に努めました。町内の社会資源が限られているため、支援方法の検討やケアプランの内容等で苦慮することがありましたが、来年度以降もその人らしさと自立支援を念頭に置いた相談活動に努めます。

【令和5年度実績】

総合相談件数 延 3,352件 ケアプラン作成件数 延 1,143件
 予防ケアプラン作成件数 延 40件 契約実人数 161名

4. 通所介護事業所

今年度は、利用者数が昨年度比で約220名増えましたが、慢性的な職員不足は続いており、他部署の応援を受けて事業を行うことができました。来年度以降も職員募集を継続して行い、安定した事業運営ができる体制の構築に努めたいと考えています。

【令和6年度実績】 開所日数 256日 登録利用者数 65名
 延利用者数 6,342名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者												4
要支援1											3	6
要支援2	26	28	28	29	35	32	40	38	28	34	33	46
要介護1	124	125	117	129	109	114	118	98	121	114	130	149
要介護2	241	239	208	248	246	227	236	190	174	172	188	149
要介護3	103	107	98	99	93	104	133	118	123	119	108	131
要介護4	49	61	55	62	52	47	51	48	52	38	39	40
要介護5								3	8	3	14	7
合 計	543	560	506	567	535	524	578	495	506	480	515	532

5. 訪問介護事業所・居宅介護事業所

今年度も昨年度と同様に常勤職員2名と非常勤職員4名で事業を実施しました。昨年度と今年度の利用状況を比較すると、訪問件数全体で約340件増加し、生活援助（家事支援）の割合が減少して身体介護の割合が増加しています。自宅で介護を必要とする高齢者が増加していることが見て取れます。ただ、非常勤職員の高齢化が進んでいて、若い世代の採用が必要となっている現状ですが、募集を掛けても応募がない状況となっており、今後の事業継続が難しくなっています。

来年度以降も継続して職員募集を行い、新規職員の採用でよりよいサービスの提供に努めていきます。

【令和6年度実績】

介護度	利用者数	生活援助中心	身体・生活	身体介護中心	合 計
事業対象者	0名	0回	0回	0回	0回
要支援1	2名	16回	0回	0回	16回
要支援2	8名	293回	0回	0回	293回
要介護1	9名	213回	119回	65回	397回
要介護2	14名	605回	93回	256回	954回
要介護3	4名	13回	37回	16回	66回
要介護4	0名	0回	0回	0回	0回
要介護5	0名	0回	0回	0回	0回
障がい者	2名	112回	0回	0回	112回
合 計	34名	1,252回	249回	337回	1,838回

6. 介護予防事業所

今年度も町が契約したリハビリ専門職（理学療法士）助言・指導の下、リハビリマシンやゴムボール等を用い、利用者の介護予防に努めました。昨年度と比べて利用者が約200名減少しており、状態が悪化して通所介護事業所に移行する方が増えている状況となっています。

【令和6年度実績】

通所型事業 開催回数 427回 登録者数 121名
利用者数 延 3,998名

7. 生活支援相談室（生活支援相談員配置事業）

今年度は、町内の訪問活動や地域交流サロンの運営に加え、社協連携避難者支援センターの運営協力、いわき市内にある復興公営住宅や生活再建住宅への訪問も行いました。いわき市に居住されている方々は、地域のコミュニティに馴染んでいない方が多く、孤立感を抱えている方が多く存在するため、一世帯ごとの訪問時間が多く掛かりますが、丁寧な訪問を心掛けました。

来年度は、今年度と同様の活動を行い、孤立感を抱える方々の不安や悩みを相談して

もらえるような訪問活動を行っていきます。

【令和6年度実績】 訪問回数 延 7, 933回

サロン開催回数 109回 参加者数 延 1, 319名

8. 檜葉町放課後児童クラブ

檜葉町から放課後児童健全育成事業を受託し、放課後に保護者のいない児童を預かり、保護者の就労環境の整備と児童の健全育成に努めました。障がい児や障がいを持っていると思われる児童の預かりも行っているため、その対応に苦慮したこともあり、学校等と情報共有会議も行い、適切な支援に努めました。保護者が安心して就労できる環境づくりに取り組むとともに、児童の健全育成に向けて地域の方々と協力しながら事業を行っていきます。

【令和6年度実績】 開催日数 240日 利用児童数 延 5, 119名